

☆☆☆☆☆5月30日(木)正午解禁新作映画情報☆☆☆☆☆



## 『グッド・ヴァイブレーションズ』

上映劇場も興奮を隠さない！待望の劇場予告編が完成！

平素より大変お世話になっております。5月30日(木)正午解禁の新作映画情報になります。既報の通り、2012年に完成した作品でありながら長らく日本では劇場公開されていなかったイギリス映画『グッド・ヴァイブレーションズ』が遂に8月3日(土)より劇場公開される事が決定しましたが、この度、待望の劇場予告編が完成しましたのでご案内いたします。ご紹介の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

『グッド・ヴァイブレーションズ』上映劇場から予告編のテンションの高さが大好評！  
映画を観たくなる事間違い無し！の予告編が遂に公開になります！

予告編の視聴はこちらの映画公式HPをご案内下さい。

<http://good-vibrations-film.com/>

現在非公開設定ですが、5/30(木)の11:50頃に映画公式HPのトップにUPされる予定となっております。youtubeへの直接のリンクは以下のアドレスとなります。こちらも5/30(木)の11:50頃に公開される予定となっております。

<https://youtu.be/nwXpJLh1GoE>

☆上映決定劇場でも予告編上映開始！

<公開決定劇場>

8/3(土)～ | 東京・新宿シネマカリテ

8/9(金)～ | 大阪・シネマート心斎橋

8/23(金)～ | 東京・渋谷HUMAXシネマ

8/24(土)～ | 愛知・名古屋シネマテーク

8/24(土)～ | 京都・出町座

8/31(土)～ | 青森・シネマディクト

9/7(土)～ | 神奈川・横浜シネマリン

上映決定 | 東京・UPLINK 吉祥寺

上映決定 | 広島・横川シネマ

以降全国順次公開！

その音楽は、1978年の北アイルランド〈ベルファスト〉で若者達と1人のレコード店主に生きる理由を与えた。THE UNDERTONES、RUDI、THE OUTCASTS、PROTEXなどのロック・バンドを世に送り出した北アイルランドのレコード店でありレコード・レーベル〈グッド・ヴァイブレーションズ〉の創設者、“ベルファスト・パンクのゴッドファーザー”と呼ばれるテリー・フリーの実話に基づき、半生を描いた超大作ではないけれども愛さずにはいられない英国の臭いが全編に漂う作品が完成から7年の歳月を経てようやく日本公開となる。ヒットチャートを賑わしたバンドや楽曲が登場する訳ではないのだが、この映画に宿る“決して揺るがず諦めない”精神は、自分が信じたもの、惚れ込んだものを世の中に知ってもらう為にもがいた経験が一度でもある人には、きっと痛いほどに響くに違いない。1人のレコード店主の生き方は、一見便利な現代の情報社会でストレスを感じる我々へ贈られたメッセージのようでもある。本作は2012年の制作でイギリスでの公開は2013年。日本では劇場公開がされていなかったが、2018年に自主上映企画〈アイルランド映画が描く「真摯な痛み」〉で上映されたことをきっかけに、このたびの一般公開へと繋がっていった。

### 今もなお、世界中でカバーされ続けている青春の名曲“TEENAGE KICKS”は、 紛争の続く1970年代の北アイルランドで1人のレコード店主が世に送り出した。

真実に基づくテリー・フリーの物語。1970年代の北アイルランドは紛争の真っ只中にあり、多くの犠牲者を生み出していた。1975年に北アイルランドをツアー中のアイルランドのバンド、マイアミ・ショーバンドがアルスター義勇軍によって虐殺された〈マイアミ・ショーバンド虐殺事件〉によって、北アイルランドにやって来るミュージシャンは激減し、北アイルランドの音楽産業は壊滅状態となっていた。そんな中、町を出ずに客のいないナイトクラブでDJを続けていたテリー・フリーは、運命の女性ルースと出会い燃えるような恋に落ち、やがて結婚を決意する。そして生計を立てる為にベルファストにレコード店〈GOOD VIBRATIONS〉を開店させるのだった。紛争と政治思想に翻弄されながらも、知恵と努力で何とか商売を軌道に乗せたテリー。ある日、若者達は自分が好きな60年代の音楽よりもパンクロックに夢中になっていて、バンドを結成し、夜な夜なライブハウスで演奏を繰り返していることを知る。興味本位でライブハウスに顔を出してみたテリーが目撃したのは、理不尽な警察官に若者がパンクロックで団結し、抵抗している姿だった。その光景にかつて感じた事のない興奮と感動を覚えたテリーは、そこで出会ったバンド、ルーディ〈RUDI〉の演奏に惚れ込み、自らのレコード・レーベルを立ち上げ、彼らのレコードをリリースすることを決意する。誰も見向きをしなかった北アイルランドのパンクバンドのレコードを出したレーベル〈GOOD VIBRATIONS〉の名前は北アイルランドのパンクバンドに一気に広まり、彼の元には様々なバンドが集うようになっていく…。だが、情勢の不安が続く中、商売も上手くいかなくなり、テリーも悩み多き日々を過ごす事となる。そんな時に解散を覚悟で彼の元を訪ねてきたアンダートーンズ〈THE UNDERTONES〉という新人バンドの録音で、最高の楽曲が誕生する。興奮したテリーはプロモーションの為にロンドンを訪れるが大手のレコード会社には門前払いに近い冷たい扱いをされる、しかし、唯一音源を受け取ってくれたのが、BBCラジオの有名なDJ、ジョン・ピールだった…。

『グッド・ヴァイブレーションズ』

2013年 アイルランド・アカデミー賞 作品賞ノミネート 2014年 英国アカデミー賞 英国デビュー賞ノミネート(脚本)

監督:リサ・バロス・ディーサ、グレン・レイバーン | 脚本:コリン・カーベリー、グレン・パターソン

出演:リチャード・ドーマー、ジョディ・ウィッテカー、マイケル・コーガン、カール・ジョンソン、リアム・カニンガム、エイドリアン・ダンバー、ディラン・モラン 他

2012年 | 原題:Good Vibrations | イギリス=アイルランド | カラー | シネマスコープ | 103分 | DCP | PG12

英国公開:2013年3月29日 | 日本語字幕:岡俊彦 | 配給:SPACE SHOWER FILMS

© Canderblinks (Vibes) Limited / Treasure Entertainment Limited 2012

公式HP:good-vibrations-film.com | 公式twitter:@G\_V\_F\_0803 | 公式Facebook:@GoodVibrationsFilm0803

お問い合わせ □スペースシャワーネットワーク 〒106-8011 港区六本木3-16-35 イースト六本木3階  
(配給担当:近藤順也 | TEL:090-6725-3470 | jkondo@spaceshower.net)  
(宣伝担当:佐藤優子 | TEL:080-6860-3822 | ysatoh@spaceshower.net)

**8/3(土)より新宿シネマカリテにて上映決定!**

〈公開表記について〉

タイトル : 『グッド・ヴァイブレーションズ』

公開情報 : 8/3(土)より新宿シネマカリテにて上映決定

クレジット : © Canderblinks (Vibes) Limited / Treasure Entertainment Limited 2012